大日本住友製薬

大日本住友製薬
会社案内

ごあいさつ

大日本住友製薬

大日本住友製薬は、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」ことを企業理念としています。
当社は、この理念を実現するため、また、日本はもちろん世界の方々に革新的で有用な医薬品をお届けするため、新薬の研究開発に全力を注いでいます。

当社は、2009年に米国のセプラコール・インク（現サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク）を子会社化し、米国において自社販売体制を構築するとともに、2011年にグローバル戦略製品「ラツーダ」を発売し、大きくグローバル化を推し進めました。
また、2012年に米国バイオベンチャー企業のボストン・バイオメディカル・インクを買収し、がん領域への本格参入を達成しました。

2013年にスタートした第三期中期経営計画では、「グローバルレベルで戦える研究開発型企業」、「最先端の技術で医療に貢献」の２つをビジョンとして掲げ、イノベーションへの新たな挑戦をめざしています。精神神経領域やがん領域の研究重点領域に加え、新規分野として「治療薬のない疾患分野」や「再生・細胞医薬分野」の研究開発にも挑戦しています。

これからも患者さんとそのご家族、医療関係者、株主、社員、地域社会などのステークホルダーの皆さまの信頼にお応えできるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります。
今後も、これまでと変わらぬ皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大日本住友製薬株式会社
代表取締役社長
多田 正世

企業理念

大日本住友製薬

企業理念

人々の健康で豊かな生活のために、
研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する

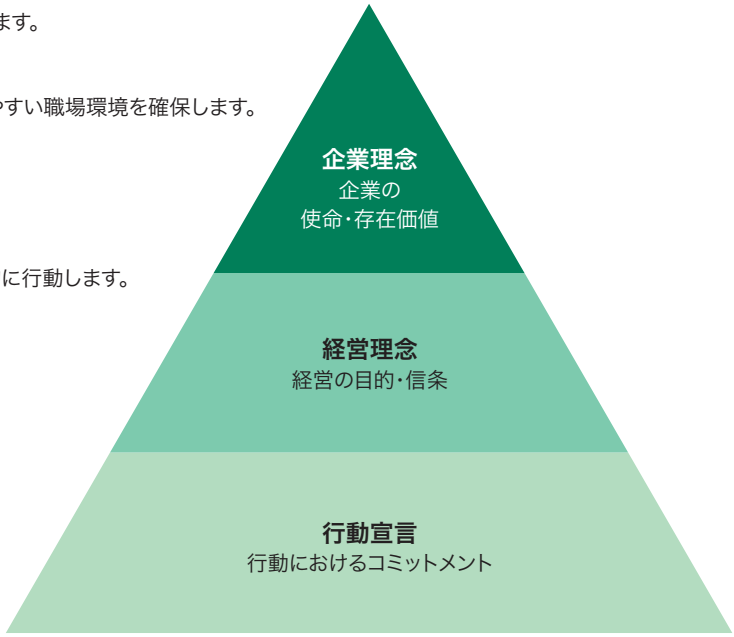
経営理念

- **顧客視点の経営と革新的な研究を旨とし、これからの医療と健やかな生活に貢献する**
- **たゆまぬ事業の発展を通して企業価値を持続的に拡大し、株主の信頼に応える**
- **社員が自らの可能性と創造性を伸ばし、その能力を発揮することができる機会を提供していく**
- **企業市民として社会からの信用・信頼を堅持し、よりよい地球環境の実現に貢献する**

行動宣言

大日本住友製薬の役員・従業員は、社会から信頼され存在感のある企業を目指し、
法令遵守はもとより、以下の行動宣言に従って企業活動を遂行します。

1. **“Innovation today, healthier tomorrows”の実現に取り組みます**
   世界の人々がより健やかに自分らしく過ごせるよう、つねに新たな変革を自らに課し、
   イノベーションの実現にスピードをもって挑みます。
2. **誠実な企業活動を行います**
   法令を遵守し、高い倫理観を持って透明かつ公正な企業活動を行います。
   また、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体には断固たる行動をとります。
3. **積極的な情報開示と適正な情報管理を行います**
   社会に向けて適時適切、公正な情報開示を行うとともに、
   企業活動を通じて得た個人情報や顧客情報を適正に保護、管理します。
4. **従業員の能力を活かします**
   従業員が主体性と創造性を最大限に発揮できるよう、安全で働きやすい職場環境を確保します。
5. **人権を尊重します**
   当社を取り巻く全ての人々の人権を尊重して企業活動を行います。
6. **地球環境問題に積極的に取り組みます**
   地球環境問題への取り組みを重要な使命と認識し、自主的、積極的に行動します。
   また、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
7. **社会との調和を図ります**
   よき企業市民として社会貢献活動を推進します。
   また、国内外を問わず、地域の文化や慣習を尊重し、
   企業活動を通じて地域社会の発展に寄与します。



大日本住友製薬の基本姿勢

大日本住友製薬株式会社

ブランドマーク

大日本住友製薬

大日本住友製薬のシンボル“グリーン・プリズム”は、明日に向かって前進していく躍動感を表す「太陽」、未来の可能性と希望を表す「光」、健康でいる喜びとその開放感を表す「花」、がデザインのモチーフになっています。
すべての人に明日に向かって前進していくチカラを提供していくための、高い研究開発力、的確なサポート体制、チャレンジング・スピリットなど、大日本住友製薬の企業姿勢を体現したデザインです。
またシンボルには、世界へ拡がっていくネットワークの様子も込めています。
コーポレート・カラーのグリーンは、健康で活き活きした気分の状態、未来の可能性の象徴である若葉の色などを表現しています。

グローバルスローガン

Innovation today, healthier tomorrows

“Innovation today, healthier tomorrows” は、大日本住友製薬の合併10周年の節目に、大日本住友製薬グループの医薬事業4社（大日本住友製薬、Sunovion社、Boston Biomedical社、住友制葯（蘇州）有限公司）で制定したグローバルスローガンです。
このグローバルスローガンには、従業員一人ひとりが、つねに自らの変革（＝Innovation）を追求しながら、新たな発想や高い研究開発力により革新的な新薬を社会に届けることで、患者の皆さまとそのご家族が、より健やかに自分らしく（＝healthier）過ごせる日々を実現したいという、私たちの強い意志が込められています。

会社概要

商号	大日本住友製薬株式会社（だいにっぽんすみともせいやく かぶしきがいしゃ） Sumitomo Dainippon Pharma Co., Ltd.
設立	1897年（明治30年）　5月14日
合併期日	2005年（平成17年）　10月1日
代表者	多田　正世　（代表取締役社長）
資本金	224億円　（2016年9月30日現在）
従業員数	3,962名（連結 6,746名）（2016年9月30日現在）
事業内容（連結）	医療用医薬品、食品素材、食品添加物、動物用医薬品、診断薬の製造および販売等
大阪本社	大阪市中央区道修町2-6-8（〒541-0045）　代表電話：06-6203-5321
東京本社	東京都中央区京橋1-13-1（〒104-8356）　代表電話：03-5159-2500
決算期	3月31日

大日本住友製薬株式会社は、2005年10月に「存在感のある先進的な製薬企業」を目指し、大日本製薬株式会社と住友製薬株式会社の合併により誕生しました。
新会社発足以来、国内基盤の収益力の強化、海外市場への展開、研究開発力の強化とパイプラインの充実などを目指し、さまざまな事業基盤の整備・強化に努めています。

	2005年10月1日　大日本住友製薬　誕生
2006年	● 深在性真菌症治療剤「アムビゾーム®」新発売
2007年	● ファブリー病治療剤「リプレガル®」新発売 ● ラボラトリープロダクツ事業をDSファーマバイオメディカル株式会社に統合 ● 中期経営計画('07 - '09年度)スタート
2008年	● 非定型抗精神病薬「ロナセン®」新発売 ● 高血圧症治療剤「アバプロ®」新発売
2009年	● パーキンソン病治療剤「トレリーフ®」新発売 ● 米国に持株会社(大日本住友製薬アメリカホールディングス・インク)を設立 ● 米国セプラコール・インク(現サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク)を買収し、米国持株会社の完全子会社化
2010年	● 肝細胞がん治療剤「ミリプラ®」新発売 ● 第二期中期経営計画('10 - '14年度)スタート ● セプラコール・インク(現サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク)と大日本住友製薬アメリカ・インクを合併 ● ビグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ®」新発売 ● 成長ホルモン事業を譲渡 ● アニマルサイエンス事業を会社分割し、DSファーマアニマルヘルス株式会社を設立 ● フード&スペシャリティ・プロダクツ事業を五協産業株式会社に統合し、DSP五協フード&ケミカル株式会社に商号変更 ● 米国セプラコール・インクがサノビオン・ファーマシューティカルズ・インクに商号変更
2011年	● 非定型抗精神病薬「LATUDA®」をサノビオン・ファーマシューティカルズ・インクが米国で新発売 ● 速効型インスリン分泌促進剤「シュアポスト®」新発売
2012年	● 米国ボストン・バイオメディカル・インクを買収 ● アレルギー性鼻炎治療剤「ZETONNA®」をサノビオン・ファーマシューティカルズ・インクが米国で新発売 ● サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクがエレベーション・ファーマシューティカルズ・インク(現サノビオン・レスピラトリー・ディベロップメント・インク社)を買収 ● 高血圧症治療剤「アイミクス®」新発売
2013年	● シンガポール共和国に子会社(サノビオン・アジア・パシフィック・プライベート・リミテッド)を設立 ● 第三期中期経営計画('13 - '17年度)スタート ● 大日本住友製薬ヨーロッパ・リミテッドがサノビオン・ファーマシューティカルズ・ヨーロッパ・リミテッドに商号変更 ● 結核ワクチン事業に関する合弁会社(株式会社クリエイトワクチン)を設立 ● 米国に抗がん剤販売子会社(ボストン・バイオメディカル・ファーマ・インク)を設立
2014年	● 再生医療等製品事業に関する合弁会社(株式会社サイレジェン)を設立 ● 神戸再生・細胞医薬センターを開設 ● 抗てんかん剤「APTIOM®」をサノビオン・ファーマシューティカルズ・インクが米国で新発売 ● 非定型抗精神病薬「LATUDA®」をサノビオン・ファーマシューティカルズ・ヨーロッパ・リミテッドが英国で新発売 ● 生産拠点再編を決定(茨木工場および鈴鹿工場の生産機能統合、愛媛工場の閉鎖)

2015年	● そう痒症改善剤「レミッチ®」の国内プロモーションを開始 （慢性肝疾患患者におけるそう痒症） ● GLP–1受容体作動薬「トルリシティ®」新発売
2016年	● サノビオン社がカナダのシナプサス・セラピューティクス・インク （現サノビオン・CNS・ディベロップメント・カナダ・ULC）を買収

旧大日本製薬株式会社の起源

大日本製薬株式会社は、1897年（明治30年）に、大阪道修町の有力薬業家21名により、純正医薬品の製造所として設立された大阪製薬株式会社が起源です。
翌1898年（明治31年）には、政府主導のもと1883年（明治16年）に設立された、わが国初の製薬会社である大日本製薬会社を吸収合併して社名と商標を継承し、大日本製薬株式会社に改称しました。

旧住友製薬株式会社の起源

住友製薬株式会社は、1984年（昭和59年）に住友化学工業株式会社（現在の住友化学株式会社）と稲畑産業株式会社のそれぞれの医薬品事業を分離、統合して設立されました。
なお、住友化学工業株式会社の医薬事業は、1944年（昭和19年）に日本染料製造株式会社との合併により、医薬事業を継承したことに始まります。
また、稲畑産業株式会社は、住友化学工業株式会社の医薬品の総代理店でした。

コーポレートガバナンス

基本的な考え方

当社は、「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定し、企業理念および経営理念のより良い実現を目指して、実効性の高いコーポレートガバナンス体制の構築を継続して追求することを重要な経営課題として位置づけています。

重要な影響を与えうる事情

住友化学（株）は、当社の議決権の50.22%を有する親会社です。両社間では、当社の経営の自主性を尊重する旨の確認がなされており、事業活動を行ううえでの承認事項など親会社からの制約はなく、一定の独立性が確保されています。さらに、当社には、親会社との兼任取締役は存在していません。
また、当社は、親会社からの出向者を受け入れていますが、出向受け入れは当社の判断で行われており、当社の経営・事業活動への影響はないものと考えています。
これらのことから、当社は、親会社を有することによって、一般株主の利益が侵害されることはないと認識しています。

経営体制

当社は、取締役会と独立した立場で取締役の職務執行を監査する目的で監査役会設置会社を選択しており、独立社外取締役を選任しています。また、執行役員制度を採用し、経営の監督と業務執行を分離しています。 取締役会は、独立社外取締役2名を含む8名で構成しており、原則月1回開催し、経営に関する重要な事項について決議および報告を行っています。
監査役会は、社外監査役3名を含む5名で構成しており、原則月1回開催し、監査に関する重要な事項について協議と決議を行うとともに、取締役会付議事項の事前確認なども行っています。
取締役および監査役の候補者の指名、取締役の報酬の決定などにかかる取締役会の機能の客観性・独立性を強化する観点から、取締役会の諮問機関として指名報酬委員会を設置し、必要に応じて開催しています。委員会は、3名の委員で構成し、その過半数である2名を独立社外取締役とし、委員長は独立社外取締役から選任しています。
また、代表取締役社長の意思決定のための諮問機関として経営会議を原則月2回開催し、取締役会の決定した基本方針に基づき、経営上の重要な事項を審議しています。
さらに、業務執行状況および業務執行にかかわる重要事項を社外取締役および社外監査役を含む取締役および監査役との間で適切に共有することを目的として経営連絡会を原則月1回開催しています。

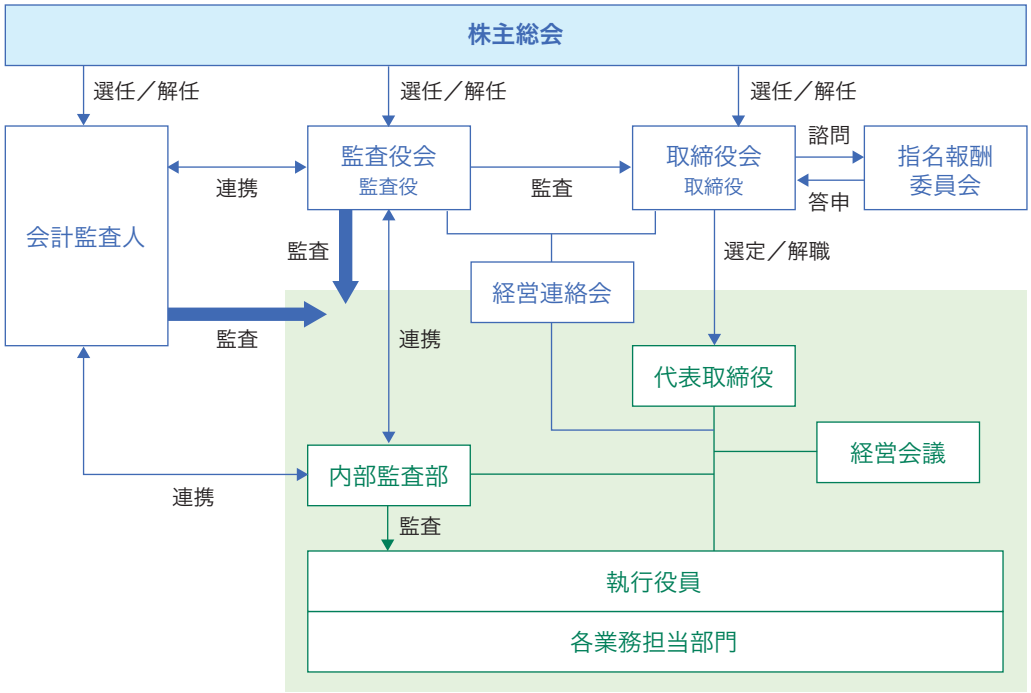
監査体制

当社では、3名の社外監査役を含めた5名の監査役を選任しています。監査役会にて、監査方針、監査役の職務の分担などを定めています。各監査役はこれに従い、代表取締役との定期的な会合、その他取締役および使用人からの積極的な報告および協議、会計監査人との連携、内部監査部門との連携、さらに三様監査の連携等を行うなど、監査の実効性を高めるための環境整備に努めています。また、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役による経営判断の適法性・妥当性を確認するとともに、取締役および使用人などから職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、また重要な決裁書類などを閲覧することなどにより、内部統制システムの運用状況を積極的に監査しています。なお、監査役監査の実効性を高め、かつ、監査職務を円滑に遂行するため、監査役の専従スタッフを配置しています。

会計監査については、有限責任 あずさ監査法人と監査契約を締結し、会計監査を受けています。また、内部監査については、社長直轄の組織として内部監査部を設置しており、内部統制の目的を達成するための基本的な要素を、子会社を含めて、公正かつ独立の立場で監査しています。

内部統制システムの整備

当社は、会社法に基づき、業務の適正を確保するための体制の整備における基本方針について、取締役会で決議しています。基本方針に基づき、実施する取り組み状況を毎期末月開催の取締役会において報告するとともに、必要に応じて基本方針の改定を行っており、その体制整備に努めています。



医薬品事業

信頼される医薬品づくりを目指して

大日本住友製薬グループは、医薬品事業を中核事業とし、日本はもちろん世界の方々に革新的で有用な医薬品をお届けするため、グローバル開発を基本に、新薬継続創出に向けた研究開発を行い、国内・海外で展開しています。
また、顧客満足度の向上を目指して、医薬品の情報提供活動を行っています。

日本における医薬品事業

情報提供活動

新薬は、基礎研究や各種試験、国による承認審査という長い道のりを経て、初めて患者さんに届けられます。さらに発売後も多くの患者さんに使われていくなかで、安全性や有効性が繰り返しチェックされ、より安心できる有用性の高い医薬品となります。このようにして得られた有効性、安全性等の情報に基づき適正に使用されてはじめて、医薬品は、人類の健康に貢献するという使命を果たすことができます。当社は、MR（医薬情報担当者）を通して、医療関係者に必要かつ専門性の高い情報を提供しています。日々のMR活動を通じ、医療関係者からの信頼を得ること、そして患者さんの健康で豊かな生活に貢献していくことを目指しています。

重点領域・主要製品

当社は、日本国内において、循環器・糖尿病、精神神経、スペシャリティ領域を営業重点領域と位置づけ、営業活動を展開しています。
循環器・糖尿病領域においては、高血圧症治療剤として、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤（ARB）、カルシウム拮抗剤（CCB）、ARBとCCBの配合剤、利尿剤、ACE（アンジオテンシン変換酵素）阻害剤、$\alpha\beta$遮断剤を取り揃え、高血圧症治療のパートナーを目指しています。糖尿病領域においても、作用機序の異なる複数の2型糖尿病治療剤を持ち、医療ニーズにお応えしています。
また、精神神経領域においては、統合失調症やパーキンソン病、不安障害、てんかんなど、様々な疾患の治療薬を提供しています。
さらに、スペシャリティ領域（アンメット・メディカル・ニーズ*が高く、高度な専門性が求められる領域）においても、深在性真菌症治療剤、ファブリー病治療剤、肝細胞がん治療剤を持ち、広く医療ニーズにお応えしています。
主要製品として、「アイミクス」「ロナセン」「トレリーフ」の戦略品、「レミッチ」「トルリシティ」の新製品、「アムビゾーム」「リプレガル」「ミリプラ」のスペシャリティ製品に営業資源を集中し、収益の最大化を目指しています。
＊アンメット・メディカル・ニーズ：いまだ満たされていない医療ニーズ、つまり、いまだ有効な治療方法がない医療ニーズのこと。

戦略品

製品名	薬効
アイミクス	高血圧症治療剤
ロナセン	非定型抗精神病薬
トレリーフ	パーキンソン病治療剤

新製品

製品名	発売日	薬効
レミッチ	2015年5月*	そう痒症改善剤
トルリシティ	2015年9月	GLP-1受容体作動薬

＊販売は鳥居薬品株式会社。当社は「慢性肝疾患患者におけるそう痒症」についてプロモーションを実施する。

スペシャリティ製品

製品名	薬効
アムビゾーム	深在性真菌症治療剤
リプレガル	ファブリー病治療剤
ミリプラ	肝細胞がん治療剤

主な重点品

製品名	薬効
アバプロ	高血圧症治療剤
シュアポスト	速効型インスリン分泌促進剤
メトグルコ	ビグアナイド系経口血糖降下剤

新薬の継続創出に向けて

当社グループは、アンメット・メディカル・ニーズの高い精神神経領域とがん領域を研究重点領域とし、革新的な医薬品の創製を目指しています。精神神経領域では、治療満足度の低い症状の改善や、既存薬で充分な効果が得られていない患者さんの治療に焦点を当て、統合失調症、うつ病、アルツハイマー病等の研究開発を推進します。がん領域では、ボストン・バイオメディカル・インク（米国）とがん創薬研究所（日本）からなるグローバルな研究開発体制のもと、がん幹細胞の分野で世界をリードし、画期的な製品の継続的創出を目指します。さらに、iPS細胞などの最先端サイエンスを創薬に応用するとともに、細胞医薬や再生医療の取り組みを強化し、難治性疾患の治療薬の開発にも挑戦します。

研究開発初期段階では、ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクス等自社保有の先端技術などの活用により、研究効率の向上に取り組むとともに、iPS細胞などの最先端サイエンスを創薬に応用する取り組みを進めています。また、京都大学iPS細胞研究所と難治性希少疾患の治療薬の創成を目指した共同研究を推進中であり、産官学連携プロジェクトである「再生医療実現拠点ネットワークプログラム」にも積極的に参加しています。

研究後期および開発段階では、重点領域を中心にほかの領域も含めて、グローバルな視点からグループ全体でのポートフォリオの最適化を行っています。加えて、製品価値の最大化を目指した剤形展開などの製品ライフサイクルマネジメントにも積極的に取り組んでいます。

がん領域へ本格参入

当社グループでは、がん領域を精神神経領域と並ぶ将来の柱の一つとすることを目指して、強化を図っています。2012年4月に、がん領域のバイオベンチャー企業であるボストン・バイオメディカル・インクを買収し、グローバル展開を本格的に始動させました。

画期的な薬剤の創出を目指して、2012年9月には、研究本部から独立した社長直轄の組織としてがん創薬研究所（本拠地：大阪研究所）を設置しました。また、ボストン・バイオメディカル・インクの研究規模の拡大を図るため、2013年2月に米国マサチューセッツ州ケンブリッジに、新たながん研究開発拠点を設置するなど、グローバルながん研究開発体制の構築に取り組んでいます。

グローバル開発を基本戦略に

当社グループの研究開発は、CSO（Chief Scientific Officer）の統括のもと、日本・米国・中国・英国の4拠点が連携を取って活動を行っています。CSOのR&D統括機能を効率化するため、2012年4月に、GBSC（Global Business Strategy Committee）を新設しました。GBSCでは、グローバルビジネスに関わる事業戦略、ライセンス案件、研究開発戦略（優先順位づけ、リソース配分）などを審議し、グローバルな視点からグループ全体でのポートフォリオの最適化を図っています。また、初期開発段階のプロジェクト推進などをグローバルな視点から審議しています。臨床開発については、Head of Global Clinical Developmentのもと、グローバルな一体運営を強め、よりスピーディかつ効率的な開発の推進を目指しています。

医薬品の生産

医薬品は人々の生命にかかわる商品であるため、その製造にあたっては、設計通りの品質が保証されていなければなりません。医薬品の製造および品質管理は、各国でGMP（Good Manufacturing Practice; 医薬品の製造管理および品質管理に関する基準）によって厳格に定められています。
当社グループで生産された医薬品は、FDA（米国食品医薬品局）やEMA（欧州医薬品庁）、TGA（豪州医薬品管理庁）など輸出国規制当局の承認を得て、世界各国に輸出されており、欧米のGMPが当社の運用標準となっています。さらに、海外提携企業の監査、ICH（日本・米国・EU薬事規制調和国際会議）のガイドラインをはじめとしたグローバルレベルの厳しい品質基準もクリアする高い設備設計水準や品質保証体制を整えています。
グローバルレベルでの品質保証水準は、今後ますます厳格化していくと予想され、これらに対応するため、工場では固形製剤棟の新設や無菌保証レベルを向上させるRABS（アクセス制限バリアシステム）の導入をはじめ積極的に設備投資を行っており、生産部門・品質保証部門などの関連部門が一体となって、高品質の医薬品を提供する努力を続けています。

生産拠点

■鈴鹿工場

効率を重視した製剤工場として、原薬の製造から製剤、包装工程まで医薬品の製造を一貫して行う設備を整え、非定型抗精神病薬「ロナセン」、末梢循環改善剤「プロレナール」、消化管運動機能改善剤「ガスモチン」、持続性抗アレルギー剤「エバステル」などの製造を行っています。

■茨木工場

茨木工場内には、技術研究本部の製剤技術研究部門があることから、生産技術研究から生産、品質管理業務など、新製品や新技術に柔軟に対応できる開発機動型の製剤工場としての役割を持ち、散剤、錠剤、カプセル剤、注射剤などの剤形の医薬品を製造しています。

■愛媛工場

培養槽の数、大きさともに世界最大級の細胞培養設備を有するバイオ医薬品の製造拠点です。天然型インターフェロン-α製剤「スミフェロン」の粗液（原薬中間体）や無菌凍結乾燥製剤である抗悪性腫瘍性抗生物質「カルセド」を厳格な管理体制のもとで製造しています。

■大分工場

原薬製造の基幹工場です。非定型抗精神病薬「ラツーダ」、高血圧症・狭心症治療薬「アムロジン」、ノルアドレナリン作動性神経機能改善剤「ドプス」、抗悪性腫瘍性抗生物質「カルセド」などの原薬を365日、24時間体制で製造しています。また、カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」を原薬から製剤まで一貫製造し、国内・海外への供給を行っています。

米国における医薬品事業

サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク

当社は2009年10月に米国医薬品会社セプラコール・インク（現サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク）を子会社化しました。2010年4月に、セプラコール・インクは、当社開発子会社である大日本住友製薬アメリカ・インクを合併し、社名をサノビオン・ファーマシューティカルズ・インクと改めました。サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクは大日本住友製薬グループの北米事業を担っていきます。サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクは、既存製品の販売体制の最適化を図るとともに、2011年2月に米国で発売した非定型抗精神病薬「ラツーダ」の収益最大化に注力しています。

会社概要

サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクは、精神神経領域、呼吸器領域における医療用医薬品の研究開発、製造、販売の全機能を保有する製薬企業です。

設立年月	1984年1月
本社所在地	米国マサチューセッツ州マルボロ
最近の業績	売上高1,849億円（2015年度）

製品ラインアップ

主要製品名	薬効
ラツーダ	非定型抗精神病薬
アプティオム	抗てんかん剤
ブロバナ	長時間作用型β作動薬
ルネスタ	催眠鎮静剤
ゾペネックス HFA	短時間作用型β作動薬
オムナリス	コルチコステロイド点鼻スプレー
ゼトナ	コルチコステロイド点鼻スプレー
アルベスコ	コルチコステロイド吸入剤

中国における医薬品事業

住友制葯（蘇州）有限公司

当社は中国を重要な成長市場と位置づけ、積極的な事業展開を図っています。中国市場では現地法人の住友制葯（蘇州）有限公司が生産から販売を担い、現在「メペム」をはじめ4製品を販売しています。生産面においては、住友制葯（蘇州）の工場は、自社工場として現地販売製品の包装を行っています。加えて製剤から包装までの一貫生産の開始に向けての準備を進めています。既存製品に加え新製品を投入することにより、着実な成長を目指しています。

会社概要

設立年月	2003年12月
本社所在地	中国江蘇省蘇州工業園区
最近の業績	売上高184億円（2015年度）

製品ラインアップ

主要製品名	薬効
メペム（日本での販売名「メロペン」）	カルバペネム系抗生物質製剤
アルマール	高血圧症・狭心症・不整脈治療剤
セディール	セロトニン作動性抗不安薬
ガスモチン	消化管運動機能改善剤

その他の事業

食品素材・化成品事業

食品素材・化成品事業は、当社子会社「DSP五協フード&ケミカル株式会社」が担っています。
食品素材・食品添加物事業では、世界で最初に事業化に成功した「グリロイド」（タマリンドシードガム）を中心とする多糖類や、スープ・ブイヨンといった調味料など、食品の製造に用いられる高品質で安全な各種食品素材・食品添加物の開発・販売を行っています。なお、多糖類の価値最大化に向けて、情報ポータルサイト「多糖類.com」を運営しています。
また、医薬品・化粧品原料、電子薬剤、コーティング材料・工業薬品などの化成品事業においても、医薬品事業で培った技術とノウハウを活かし、国内外のサプライヤーとの連携を通じて、幅広い顧客へビジネスを展開しています。皆さまに認めていただける価値を継続的に生み出す、研究・開発・販売一体型企業として事業の拡大を図っていきます。

動物用医薬品事業

動物用医薬品事業は、当社子会社「DSファーマアニマルヘルス株式会社」が担っています。犬・猫を中心としたコンパニオンアニマルをはじめ、牛や豚、鶏、馬、魚なども対象とした動物用医薬品および特別療法食などを販売しています。
注力事業であるコンパニオンアニマル市場では、当社創製の抗菌剤「ビクタス」、犬消化管運動機能改善剤「プロナミド」、犬用慢性心不全改善剤「dsピモハート」をはじめとする治療薬を販売しているほか、犬の口腔内衛生管理の指標としての口臭成分測定用紙「オーラストリップ」を販売しています。
畜産事業では、豚用フルオロキノロン系抗菌剤「ビクタス水溶散25%」、牛用胆汁酸製剤「ウルソ」、馬用経口駆虫剤「エクイバランペースト」などを販売しています。水産事業では、水産用ワクチンを中心として魚類・甲殻類麻酔剤や合成抗菌剤などを展開し、食の安心・安全に貢献しています。また、健康維持・生産性向上を目的とした飼料添加物や混合飼料も販売しています。
これからも研究開発型の動物用医薬品メーカーとして、質の高い新たな価値を創造することで動物たちの健康を支え、動物たちと共に暮らす人々の笑顔あふれる社会づくりに努めていきます。

診断薬・研究用資材事業

診断薬・研究用資材事業は、当社子会社「DSファーマバイオメディカル株式会社」が展開しています。的確かつ迅速な治療を実現するための診断薬事業としては、インフルエンザや溶連菌をはじめとする感染症診断薬、急性心筋梗塞の診断薬（H-FABP）などのPOCT（Point of Care Testing：臨床現場即時検査）製品、骨およびCa代謝マーカー、精神神経疾患の診断薬などの開発および販売をしています。また、医薬品の効果や副作用を投薬前に予測するために実施される、コンパニオン診断のためのバイオマーカーの開発、化学発光や蛍光検出自動測定機器と専用試薬の組み合わせによる高感度かつ先進的な製品の開発・販売にも取り組んでいます。

また、医療に関する円滑な研究を促進するための研究用資材として、ES細胞やiPS細胞を利用した再生医療に応用できる細胞・培地などの開発・販売を行っており、新たな価値創造にチャレンジしています。Companion Diagnosticsにおけるバイオマーカー開発、細胞培養技術を応用した新しい創薬初期評価系を通じて創薬研究に貢献していきます。

役員紹介

大日本住友製薬

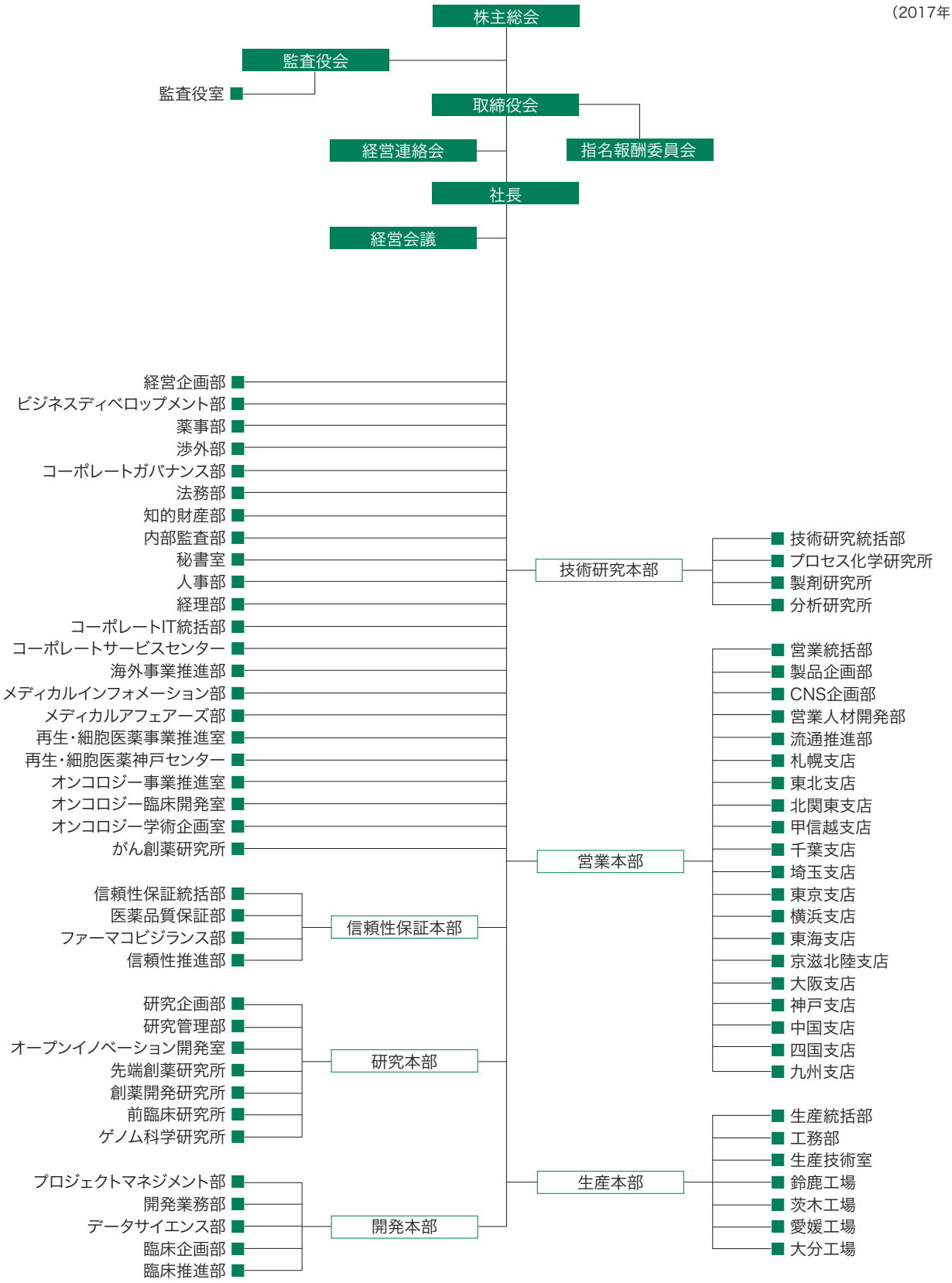
（2017年1月1日現在）

役　職	氏　名
代表取締役社長 社長執行役員	多田（ただ）　正世（まさよ）
代表取締役 副社長執行役員 研究・開発・技術研究・再生・細胞医薬事業・オンコロジー事業担当	野口（のぐち）　浩（ひろし）
取締役 専務執行役員 渉外・秘書・経理・開発本部・特命事項担当	野村（のむら）　博（ひろし）
取締役 常務執行役員 コーポレートガバナンス・人事担当	石田原（いしだはら）　賢（まさる）
取締役 常務執行役員 営業本部長	小田切（おだぎり）　斉（ひとし）
取締役 執行役員 経営企画部長 兼 再生・細胞医薬事業推進、再生・細胞医薬神戸センター担当	木村（きむら）　徹（とおる）
取締役（社外）	佐藤（さとう）　英彦（ひでひこ）
取締役（社外）	佐藤（さとう）　廣士（ひろし）
常勤監査役	竹田（たけだ）　信生（のぶお）
常勤監査役	古谷（ふるたに）　泰治（やすじ）
監査役（社外）	内田（うちだ）　晴康（はるみち）
監査役（社外）	跡見（あとみ）　裕（ゆたか）
監査役（社外）	西川（にしかわ）　和人（かずと）
常務執行役員　サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク Chair and CEO	田村（たむら）　伸彦（のぶひこ）
常務執行役員　信頼性保証本部長 兼 薬事、メディカルインフォメーション、メディカルアフェアーズ担当	大江（おおえ）　善則（よしのり）
常務執行役員 生産本部長 兼 技術研究本部長	池田（いけだ）　善治（よしはる）
常務役員　ボストン・バイオメディカル・ファーマ・インク President 兼 オンコロジー事業推進・オンコロジー臨床開発・オンコロジー学術企画担当 兼 Head of Global Oncology Office	越谷（こしや）　和雄（かずお）
執行役員　開発本部長	原（はら）　信行（のぶゆき）
執行役員　ビジネスディベロップメント・法務・知的財産・コーポレートIT統括・ 海外事業推進担当 兼 Head of Global Business Development for Sumitomo Dainippon Pharma Group	馬場（ばば）　博之（ひろゆき）
執行役員　コーポレートガバナンス部長 兼 コーポレートサービスセンター担当	衣田（きぬた）　一（はじめ）
執行役員　研究本部長	原田（はらだ）　秀幸（ひでゆき）
執行役員　サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク Executive Vice President and Chief Medical Officer 兼 Head of Global Clinical Development for Sumitomo Dainippon Pharma Group	アントニー　ローベル Antony Loebel
執行役員　ボストン・バイオメディカル・インク President, Chief Executive Officer and Chief Medical Officer 兼 Head of Global Oncology for Sumitomo Dainippon Pharma Group	チャン　リー Chiang J. Li

組織図

大日本住友製薬

（2017年1月1日現在）



主要事業所

大日本住友製薬

● 大阪本社
大阪府大阪市中央区道修町2-6-8
TEL : 06-6203-5321
FAX : 06-6202-6028

● 東京本社
東京都中央区京橋1-13-1
TEL : 03-5159-2500
FAX : 03-5159-2945

● 東京事業所
東京都中央区京橋1-17-10
住友商事京橋ビル

● 再生・細胞医薬神戸センター
兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-2
神戸キメックセンタービル5F
TEL : 078-306-2170
FAX : 078-303-4040

■ 札幌支店
北海道札幌市中央区南一条西6-4-1
ニッセイ札幌南1条ビル8F
TEL : 011-281-6101
FAX : 011-222-3769

■ 東北支店
宮城県仙台市青葉区大町2-2-10
仙台青葉ウィングビルA棟9F
TEL : 022-261-2651
FAX : 022-216-4961

■ 北関東支店
東京都中央区京橋1-13-1
TEL : 03-5159-2544
FAX : 03-5159-2948

■ 甲信越支店
東京都中央区京橋1-13-1
TEL : 03-5159-2544
FAX : 03-5159-2948

■ 東京支店
東京都中央区京橋1-17-10
住友商事京橋ビル
TEL : 03-5159-2540
FAX : 03-5159-2943

■ 千葉支店
千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1
住友ケミカルエンジニアリングセンタービル16F
TEL : 043-299-7777
FAX : 043-211-8421

■ 埼玉支店
埼玉県さいたま市大宮区宮町2-35
大宮MTビル6F
TEL : 048-649-7011
FAX : 048-649-7018

■ 横浜支店
神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-11
金子第1ビル8F
TEL : 045-285-1300
FAX : 045-285-1310

■ 東海支店
愛知県名古屋市中区丸の内2-1-8
TEL : 052-201-3341
FAX : 052-221-6760

■ 京滋北陸支店
京都府京都市中京区烏丸御池梅屋町358
アーバネックス御池ビル西館2F
TEL : 075-251-1351
FAX : 075-212-2992

■ 大阪支店
大阪府大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング11F
TEL : 06-6265-5570
FAX : 06-6267-5280

■ 神戸支店
兵庫県神戸市東灘区本山南町8-6-26
東神戸センタービル12F
TEL : 078-412-1401
FAX : 078-414-2615

■ 中国支店
広島県広島市中区幟町2-16
TEL : 082-224-0011
FAX : 082-224-0010

■ 四国支店
香川県高松市中野町29-2
住友生命高松パークビル8F
TEL : 087-862-3888
FAX : 087-835-0328

■ 九州支店
福岡県福岡市博多区中呉服町6-10
TEL : 092-281-4531
FAX : 092-272-0374

● 鈴鹿工場
三重県鈴鹿市安塚町1450
TEL : 059-382-8951
FAX : 059-382-4505

● 茨木工場
大阪府茨木市蔵垣内1-3-45
TEL : 072-627-8112
FAX : 072-627-8110

● 愛媛工場
愛媛県新居浜市惣開町5-1
TEL : 0897-37-7600
FAX : 0897-35-2534

● 大分工場
大分県大分市大字鶴崎2200
TEL : 097-523-1177
FAX : 097-523-1121

■ 総合研究所
大阪府吹田市江の木町33-94
TEL : 06-6337-5876
FAX : 06-6337-6538

■ 大阪研究所
大阪府大阪市此花区春日出中3-1-98
TEL : 06-6466-5183
FAX : 06-6466-5483

● 東京物流センター
埼玉県加須市北辻37-1
TEL : 0480-65-2240
FAX : 0480-65-2986

● 神戸物流センター
兵庫県神戸市須磨区弥栄台3-16-2
TEL : 078-796-0150
FAX : 078-796-0154

国内・海外子会社

大日本住友製薬

国内子会社

● DSP五協フード&ケミカル株式会社
大阪府大阪市北区梅田2-5-25　ハービスOSAKA20F
TEL : 06-7177-6866
FAX : 06-6453-0941

● DSファーマアニマルヘルス株式会社
大阪府大阪市中央区本町2-5-7　メットライフ本町スクエア10F
TEL : 06-4705-8180
FAX : 06-4705-8060

● DSファーマバイオメディカル株式会社
大阪府吹田市江坂町2-1-43　KYUHO江坂ビル8F
TEL : 06-6337-5940
FAX : 06-6337-5997

● DSファーマプロモ株式会社
大阪府吹田市江の木町33-94
TEL : 06-6337-6800

● ニチエイ産業株式会社
大阪府大阪市中央区平野町2-5-4　KTビル6F
TEL : 06-6205-9160
FAX : 06-6203-6360

● 株式会社DSP物流サービス
兵庫県神戸市須磨区弥栄台3-16-2
TEL : 078-797-6150
FAX : 078-795-9597

● マルピー・ライフテック株式会社
大阪府池田市伏尾町103
TEL : 0727-53-0335
FAX : 0727-54-2208

● 株式会社エイコーサービス
大阪府大阪市中央区道修町2-2-8
住化不動産道修町ビル
TEL : 06-6231-0880
FAX : 06-6231-1616

海外子会社

● 大日本住友製薬アメリカホールディングス・インク
Dainippon Sumitomo Pharma America Holdings, Inc.
84 Waterford Drive Marlborough, MA 01752
TEL : +1-508-481-6700
FAX : +1-508-481-7683

● サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク
Sunovion Pharmaceuticals Inc.
84 Waterford Drive Marlborough, MA 01752
TEL : +1-508-481-6700
FAX : +1-508-481-7683

● ボストン・バイオメディカル・インク
Boston Biomedical, Inc.
640 Memorial Drive, Cambridge, MA 02139
TEL : +1-617-674-6800
FAX : +1-617-674-8661

● ボストン・バイオメディカル・ファーマ・インク
Boston Biomedical Pharma, Inc.
640 Memorial Drive, Cambridge, MA 02139
TEL : +1-617-674-9300
FAX : +1-617-674-9330

● サノビオン・ファーマシューティカルズ・ヨーロッパ・リミテッド
Sunovion Pharmaceuticals Europe Ltd.
First Floor, Southside, 97-105 Victoria Street, London SW1E 6QT, U.K.
TEL : +44-(0)20-7821-2840
FAX : +44-(0)20-7821-2841

● 住友制薬(蘇州)有限公司
Sumitomo Pharmaceuticals(Suzhou) Co., Ltd.
No.115 QingQiu Street, SIP, Jiangsu Province, 215126 China
TEL : +86-512-6283-1082
FAX : +86-512-6283-1083

● サノビオン・ファーマシューティカルズ・アジア・パシフィック・プライベート・リミテッド
Sunovion Pharmaceuticals Asia Pacific Pte. Ltd.
150 Beach Road, #14-03 Gateway West, Singapore 189720